

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 21 日作成)

小委員会名	ユーザー・オリエンティド・デザイン小委員会	主 査 名：松田 雄二 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：広田 直行 主 査 名：山田 哲弥
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する建築利用者 (ユーザー) のニーズを汲み取り、それを建築デザインへ反映させる手法の構築に向けた研究活動の実施 ・2016 年度刊行した書籍「利用者本位の建築デザイン」に関連した内容の公開研究会等の開催 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：	
	主査：松田雄二 (東京大学)、幹事：田中賢 (日本大学)、石橋達勇 (北海学園大学) □委員：鈴木義弘 (大分大学)、富永哲雄 (和歌山大学)、西野亜希子 (東京大学)、原利明 (鹿島建設)、藤井容子 (香川大学)、山崎晋 (日本大学) 室崎千重 (奈良女子大学)、加藤悠介 (金城学院大学)、柳瀬亮太 (信州大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	ダイバーシティに向けた合理的配慮 WG:2013 年 6 月に定められた障害者差別解消法では、「社会的障壁をとりのぞくための合理的な配慮」をすることが求められている。本 WG では、ダイバーシティを実現するための具体的な建築的取組について検討することを目的としている。	
2018 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	小委員会+WG 合同委員会 2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	無し
講習会	無し 参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	公開研究会『利用者本位の建築デザイン』とはなにか 一知的障害者の地域生活を支える居住環境 参加者数 25 名
大会研究集会	無し
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	無し
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年度刊行した「利用者本位の建築デザイン」をもとに、公開研究会を実施することができた。 2. 東京だけでは無く、東海地方 (愛知県豊田市) での公開研究会が実施できた。 3. 今後の小委員会の方向性を検討すべく、特に障害者差別解消法に関して、昨年度の検討をさらに進めるための WG を設置し、議論を深めた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 委員会メンバーの所属が全国的に広がっているため、頻繁な小委員会の開催が難しい。